

学校関係者評価委員会報告書

一般社団法人 五常会
東北歯科技工専門学校
校長 渡邊 奈美

一般社団法人五常会東北歯科技工専門学校は、平成 29 年度学校自己点検評価結果をふまえ、評価委員会を実施しました。下記にその内容を報告します。

会議名：評価委員会

日 時：平成 30 年 11 月 28 日

会 場：東北歯科技工専門学校

出席者：委員 5 名 事務局 5 名

委 員

佐藤 誠 (一般社団法人宮城県歯科技工士会政連会長)
熊谷美恵子 (一般社団法人宮城県歯科技工士会副会長)
大久田秀逸 (一般社団法人宮城県歯科技工士会専務理事)
笠原 紳 (薬師堂歯科医院長・元東北大学歯学研究科)
鈴木宏明 (日本平歯科医院医院長)

事務局

渡邊奈美 (東北歯科技工専門学校校長)
菅野恭助 (東北歯科技工専門学校副校長)
小松 勝 (東北歯科技工専門学校副校長)
八巻賢一 (東北歯科技工専門学校教務部長)
神永 聡 (東北歯科技工専門学校教務主任)

自己点検評価項目に対する評価

自己評価は、次の 10 項目について評価してをしてみました。

- (1) 教育理念・目標、(2) 学校運営、(3) 教育活動、(4) 教育成果
- (5) 学生支援、(6) 教育環境、(7) 学生募集、(8) 社会貢献、
- (9) 法令遵守、(10) 財務

以下詳細については次の通りです。

(1) 教育理念・目標

教育理念・目標については、『高度な技術力の習得・プレゼンテーション能力の育成・本校の建学の精神による五常の精神にもとづく豊かな人間性の育成』とし学生に対しては、二年間に多くの知識、技能を習得させるために I T 関連の機械で操作できる学習も取り入れた。自己点検評価結果は、ほぼ適切であるとの意見が一致した。今後もなお一層の努力をしていく方針である。

(2) 学校運営

事業計画・予算の策定を行い理事会や運営会議において、学校運営の進捗状況、課題などを全教職員が、把握できているようであった。情報公開が適切になさ

れているかについては、ホームページに公開しているが更新が遅れ気味であるとの意見があった。また保護者との面談の機会を設けて面談も行っており、自己点検、評価結果は、ほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。今後も評価委員において公開項目の検討をするなどの方針が決定した。

(3) 教育活動

教育課程および授業時間数単位数については、学則変更や追加のある場合に所官の宮城県に提出・承認の確認をしておきカリキュラム作成にあたっては、企業にとって即戦力になるように『仕事のできる歯科技工士』ということを目指し関係企業の講師派遣などの協力を得ながらできるだけ学生が実社会に旅立つ準備のできる内容を組んでおり、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されている。また企業側が求める人材要件は、『コミュニケーション』のできる人材の要望も強くなったことから、学外との関わる機会を増やすためにインターンシップ（歯科医医院見学、歯科技工所見学）に力を入れた。最新の知識や技術に対する学生のニーズには、選択授業科目に於いて様々な講師を招聘し柔軟に対応した。教員の指導力育成にあたっては、全国歯科教育協議会などが開催する教員研修会、外部セミナー、研修会などに参加し向上にあたる他、新任の教員を採用にあたっては、学歴や業務経験、人物など総合的な基準で採用している。職業教育に対する外部関係者である、宮城県在住の歯科医師、宮城県歯科技工士会役員からの評価を取り入れているなど、自己点検評価はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(4) 教育成果

就職担当教員が、主になって担当し担任とともに連携して学生の就職指導を行っているが、学生の求人要覧や職活動には、就職担当職員が相談にのりながら、できるだけ学生の要望や将来性を考慮して指導している。教育目標最終達成地点は、歯科技工士国家試験の合格率80%、就職率100%であるが、ほぼ達成していることから、自己点検評価結果はほぼ適切であるとの意見が一致した。将来にわたりこれを維持できるようにより一層の努力をしていくことが、要望された。

(5) 学生支援

メンタル面での問題を訴える学生が増加しているということから、面談やカウンセリングが重要となってきた。災害発生時の対応などの指導あるいは経済的な支援が必要になっていることから、自己点検評価結果は、ほぼ適切であるとの意見が一致した、

(6) 教育環境

学内のみの授業や実習だけではなく、学生個人の自宅での学習ができるように、アイパッドに講義や実習の内容をいれてあることは、学生にとって大変有

意義であるということであった。運動不足解消に対して年二回運動場並びに体育館を利用して充実した学生生活を支援している。以上ことから自己点検評価結果は、ほぼ適切であるとの意見が一致した。また施設内にあるCAD/CAMシステムの講義や実習などの実践的なカリキュラムの編成を今後も継続していくことを決めた。

(7) 学生募集

入学希望者への情報提供として、『入学案内書』『学生募集要項』などを配布して募集を行い、学校見学会や説明会、体験入学などのイベントを数多く企画実施し、歯科技工士という仕事の内容を高校生に対して進路検討の機会を提供している。現在の情報取得の手段において、電子媒体のしめる割合の多さと重要性からホームページの充実に力を注いでいる。ということから自己点検結果は、ほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(8) 社会貢献

短期間で多くの科目を享受しなければならないということで、学外におけるボランティア活動は、なかなかできないのが実情であるが、宮城県歯科医師会、仙台歯科医師会、宮城県歯科技工士会、宮城県歯科衛生士会、歯科材料商組合の団体におけるボランティア活動に教職員も参加して地域の老人ホームなどで、義歯の清掃活動に積極的に参加し高評価を得ている。以上のことから自己点検評価結果は、ほぼ適切であるとの意見が一致した。

(9) 法令遵守

学校教育法の専修学校設置基準、歯科技工士学校養成所指定規則などによる設置や運営、教職員資格に関わる法令は遵守しており、財務報告と共に毎年5月には、所管の宮城県の現況調査を受けており、自己点検評価結果は、ほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(10) 財務

少子化の影響もあるのか、入学者の減少があり、財政に潤沢な余地がある状況ではないが、予算収支計画は、法人理事会などで執行状況が、管理され正當に税理士による会計監査報告書を提出し、理事会に承認され適正な財務状況であると報告をし全員了解した。